科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
建築生産	池田　和司	講義	２	建築士	1,2	３	1,2,3,4

授業概要 授業目的	建築生産とは人が活動や生産あるいは居住に適した環境を得るため、建築物を企画・建設し、完成後引き渡されて長期にわたる使用の後、ついには解体されるといった建物のライフサイクルの中で、「設計」と「施工」が建築生産の主な過程としてあげられる。この講義では主に「施工」に重点を置き、建築生産のしくみ、工事着工から建物完成までの各種工事、完成した建物の維持・保全・改修工事、役目が終わった建物の解体工事について、自己の経験（現場施工管理）を交えながら、複雑な建築生産プロセスについて順序だてて解説し、興味を持って学習してもらう。
到達目標	将来、建築に携わる技術者を目指す初学者に、建築施工の知識や技術、ものづくりの楽しさや喜び、感動を講義より感じてもらい、将来進みたい職種（建築士、建築施工管理技士、他）として強く興味を持ってもらうことを目標とする。

回	学習内容
1	ものづくりのしくみを知っておこう・それぞれの役割・建築生産の流れ・工事に携わる人々と組織体制
2	工事に携わるｻﾌﾞｺﾝの技能労働者とその役割・新しいｻﾌﾞｺﾝの技能労働者・工事管理
3	準備工事(調査・仮設工事)
4	山留め工事、杭工事
5	土工事、地下躯体工事(躯体工事の流れ・型枠工事)
6	地下躯体工事(鉄筋工事・ｺﾝｸﾘｰﾄ工事)
7	地上躯体工事(SRC 造・S 造・鉄骨工事・地震に対応する技術・木工事)
8	外装仕上工事(屋根工事・防水工事・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事)
9	外装仕上工事(石工事・左官工事・ﾀｲﾙ工事)
10	内装仕上工事(建具工事・ｶﾞﾗｽ工事・塗装工事)
11	内装仕上工事(軽量鉄骨下地工事・内装工事・ALC 工事)
12	設備工事
13	外構・その他工事(外構工事・その他工事・検査・引渡し)、竣工
14	維持・保全・改修工事(点検・保守・修理・修繕・更新・改修工事)、解体工事
15	試験、試験終了後に建築生産全体を通して

予習内容 復習内容	予習：テキストに目を通す等。（特にイラスト） 復習：講義中、重要及び記憶してほしい箇所を強調するので、テキストにて確認する。
教科書	施工がわかるイラスト建築生産入門：彰国社　(一社)日本建設業連合会編　川崎一雄(ｲﾗｽﾄ)
成績評価	毎回の講義内容で感じたことや疑問点を提出してもらい、出欠の確認をとります。 出席時に提出するレポート（70%）試験（30%）の合算で評価をします。ただし、試験が 100 点満点中 60 点未満は不可とします。5 回を超える欠席をした場合、試験の受験資格はありません。
実務経験	以前、株式会社大林組にて現場施工管理を担当。一級建築士、一級建築施工管理技士の資格を保持しており、現場施工管理の実務経験をもとに建築生産や、必要な資格取得について話をします。
その他 特記事項	初学者が興味を持って学習できるようテキスト以外にも関係資料を提示し、複雑な施工の流れを建設現場の様々なエピソードを盛り込みながら、分かりやすく伝えられるよう工夫したい。